

第 17 回全国障害者スポーツ大会(愛顔<sup>えがお</sup>つなぐえひめ大会)リハーサル大会  
兼 第 12 回愛媛県障がい者スポーツ大会  
ボウリング競技実施要領

1 競技規則

平成 29 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 試合の方法は、デュアルレーン(アメリカン)方式で行う。
- (2) 競技はすべてスクラッチ 4 ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。
- (3) 原則として、ゲームは同一レーン 4 名までとし、1 フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う 2 つのレーンで 10 分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、自動式ファウル判定器を使用する。
- (7) オートマチックスコアラーの操作、個人記録カードの記入は、すべて競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、すべて競技役員の指示で行う。

3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をするうえで支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布(ゼッケン)は、主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

4 招集

- (1) 招集は、所定の場所で行う。
- (2) 招集は、原則として開始 20 分前からとし、開始 10 分前に完了する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。

5 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

6 その他

- (1) 選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。
- (2) ボウラーズベンチへの立入りは、競技役員、実施本部員等、選手及び選手 1

人に対し1人の監督またはコーチ等とする。

(3) 競技会場のハウスボール、ハウスシューズを使用する場合は、参加申込書に基づき、競技会場で用意する。

ア ハウスシューズは、主催者が所定の場所に用意し、選手はボウラースベンチ後方の通路で履き替える。

イ ハウスボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後速やかに元の場所に返却する。

ウ ボールを拭くタオルは、主催者が用意する。

(4) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。

(5) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において決定する。